

目次	Contents
委員会報告	2～4P
一般質問	4～11P
議案の審議結果	12P
議員アンケート集計結果	13P
次回定例会日程など	14P

# 議会だより



駅北広場キターレ アンブレラスカイ

## 第5回定例会を開催 ～11月29日から12月16日まで～

本定例会では、条例関係、補正予算などの議案19件、諮問3件、陳情1件を審議しました。本定例会における審議結果は12ページをご覧ください。  
また、15人の議員が一般質問を行いました。

### ●..... 議会の動き .....

- 10月**
- 14日 総務文教常任委員会
  - 20日 コンプライアンス調査推進特別委員会
  - 21日 市民厚生常任委員会
  - 26日 長野県飯田市議会視察来市
  - 28日 建設産業常任委員会

- 22日 議会運営委員会
- 24日 建設産業常任委員会
- 29日 議会運営委員会  
本会議（初日）

- 11月**
- 1日、2日 全員協議会
  - 4日 建設産業常任委員会
  - 8日 上越三市議会議員合同研修会
  - 11日 新潟県加茂市議会視察来市
  - 16日 総務文教常任委員会
  - 18日 新潟県加茂市・田上町消防衛生保育組合議会視察来市

- 12月**
- 2日 議会運営委員会
  - 3日 本会議（一般質問）（6日、7日）
  - 8日 コンプライアンス調査推進特別委員会
  - 9日 市民厚生常任委員会
  - 10日 総務文教常任委員会
  - 13日 建設産業常任委員会
  - 15日 議会運営委員会
  - 16日 本会議（最終日）

## 常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査をしました。

各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

### 総務文教常任委員会

条例の制定1件、補正予算1件、その他の議案3件を審査しました。また、「令和2年度事務報告書の記載誤りについて」「糸魚川市のデジタル化の取組状況について」「第4次行政改革大綱について」「指定管理者制度と第三セクターについて」の所管事項調査を行いました。

#### ○糸魚川中学校改修事業（一般会計補正予算）

##### 質疑

実施設計委託料について、改修するトイレの個数は。

##### 答弁

糸魚川中学校全体で現在79か所あるトイレを64か所に変更し、全て洋式化する。トイレの床をドライ方式にするなどの衛生環境を向上する改修も予定している。

#### ○所管事項調査「指定管理者制度と第三セクターについて」

##### 質疑

株式会社能生町観光物産センターの出資比率を下げようか。

##### 答弁

設立当初から出資比率が変わっていないので、時代に合わせ検討した上で、出資比率を維持するのか、出資比率を下げ、市民に出資を募る形で経営していけばいいのか見直す必要はある。

### 建設産業常任委員会

条例の制定1件、補正予算2件、指定管理者の指定1件、その他の議案1件、陳情1件を審査しました。また、「指定管理者の評価結果について（権現荘）」の所管事項調査を行いました。

#### ○柵口温泉権現荘管理運営事業（新型コロナ対応）（一般会計補正予算）

##### 質疑

指定管理料の補正金額1,710万円について、今後の状況によって、余剰が出た場合はどうなるのか。

##### 答弁

この後、新型コロナウイルスの第6波等の影響がなければ、この金額を上限として補填するが、収入がプラスになった場合は市に返納されることになる。

#### ○所管事項調査「指定管理者の評価結果について（権現荘）」

##### 質疑

日帰りの利用が減少していることについて、今後どのような対策を講じるのか。

##### 答弁

日帰りの利用は地元のお客が多いと思われるため、高齢者サロン、一人暮らし高齢者向けのイベントを権現荘で行う中で、リピーターとなってもらえる施策を行っている。

### 市民厚生常任委員会

条例の制定2件、補正予算4件を審査しました。また、「第3次いといがわ男女共同参画プラン(案)について」「第2次糸魚川市人権教育・啓発推進計画(案)について」「第2次糸魚川市空家等対策計画(案)について」「第4期糸魚川市地域福祉計画(案)について」「新型コロナウイルスワクチン追加（3回目）接種について」の所管事項調査を行いました。

#### ○糸魚川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（し尿くみ取り手数料の改定について）

##### 質疑

受益者負担の原則の下で手数料の改定を進めることになると、対象となる戸数が減少すれば、手数料が上がるばかりになるのではないかと。

##### 答弁

一般家庭における改定後のし尿くみ取り手数料と下水道料金にまだ差があることから、受益者負担の原則の下、手数料の改定を検討していきたい。その際は受益者の負担感に配慮し、見直しを行っていきたい。



## 閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

### 総務文教常任委員会

10月14日

- ◎第3次総合計画の策定について

11月16日

- ◎令和2年度事務報告書の記載誤りについて

### 建設産業常任委員会

10月28日

- ◎ジオパーク観光の取組について
- ◎サテライトオフィスの計画と運営について
- ◎キターレの運営について

11月4日

- ◎除雪体制について
- ◎下水道使用料改定について

11月24日

- ◎サテライトオフィスの計画と運営について
- ◎糸魚川市駅北まちづくり戦略について

### 市民厚生常任委員会

10月21日

- ◎医師、看護師及び医療技術者の確保対策について



## 特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

### コンプライアンス調査推進特別委員会

10月20日

- ◎不正入札の防止等について

12月8日

- ◎不正入札の防止等について
- ◎不正防止に向けた取組について
- ◎公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）

## 議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

11月22日

- ◎第5回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎請願・陳情の付託について
- ◎委員長報告について
- ◎令和4年度予算議会費の要求について
- ◎議会運営について

11月29日

- ◎追加議案について

12月2日

- ◎追加議案について
- ◎議会運営について
- ◎議員派遣について

12月15日

- ◎追加議案について
- ◎委員長報告について
- ◎閉会中の継続調査の申出について
- ◎3月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎議会運営について

## 全員協議会

市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するため、議員全員が出席して開かれる会議です。

11月1日、2日に全員協議会を開催し、第3次糸魚川市総合計画について行政側から説明を受け、質疑を行いました。



## 委員会協議会

閉会中や休会中に常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

### 建設産業常任委員会

10月15日

株式会社能生町観光物産センターと権現荘及びマリンドリーム能生の現状と課題について、一般社団法人糸魚川市観光協会と糸魚川駅観光施設の現状について懇談を行いました。



権現荘を視察

11月24日

駅北復興まちづくり計画エリアの視察を行いました。

12月13日

さかなの会代表 ながさき 一生<sup>いっき</sup>氏と水産業の振興について懇談を行いました。



ながさき 一生氏との懇談

### 市民厚生常任委員会

10月21日

糸魚川総合病院と地域医療体制について懇談を行いました。



糸魚川総合病院との懇談

※二次元バーコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。

## 宮島 宏 議員



### 問 翡翠の保全と利活用について

#### 質問

- (1) 新潟県糸魚川地域振興局の「石のまち 糸魚川」の翡翠の保全に関する特記仕様書について、どのように考えているか。
- (2) 翡翠の3ない運動や翡翠のワイズユース(※)の提案について、どのように考えているか。
- (3) 翡翠採集を安全に楽しく体験できる全天候型の施設の提案について、どのように考えているか。
- (4) 翡翠を新潟県の石にする会が、令和4年2月の新潟県議会に請願することになった。新潟県の石に翡翠がなることについて見解と抱負、なった場合の対応について伺う。
- (5) フォッサマグナミュージアムで行っている翡翠レスキューの内容と意義について伺う。
- (6) 市内2か所の国指定硬玉産地の解説板の整備状況について伺う。
- (7) 小滝地区から林道入山線を一方通行にする要望が出されている。この要望への対応や見解を伺う。
- (8) ユネスコの国際基礎科学年に関連した2022鉱物学年に合わせた事業を予定しているか。

#### 市長答弁

- (1) 工事の際に見つかる可能性があることから、ヒスイの保護に効果があると考えている。
- (2) ユネスコ世界ジオパークの理念を踏まえ、ヒスイの保護と持続可能な活用に向けて採取のルール化などについて対応している。
- (3) 現時点では考えていない。
- (4) ヒスイがクローズアップされると期待しており、石のまち糸魚川を内外に発信していく。
- (5) 河川などでヒスイが見つかった場合、河川管理者の許可を得て引き上げ、保護に努めており、ヒスイを守る非常に重要な活動であると考えている。
- (6) 小滝川硬玉産地では、ジオサイトやヒスイ原石の位置を示す解説板を設置している。青海川の硬玉産地には解説板は設置していないが、策定を進めている文化財保存活用地域計画の中で整備を検討していく。
- (7) 平成30年度に地元と協議をしており、引き続き地元や関係者の意向を聴く中で検討していきたいと考えている。
- (8) 県の石決定ともタイアップした事業を計画していきたいと考えている。

#### その他の質問項目

- 防災減災の推進について
- プラタモリについて

※ワイズユース：保護と活用の両立



和泉 克彦  
議員



## 問 糸魚川市管轄の漁港の安全管理等について

### 質問

糸魚川市が管轄する漁港の安全管理等について伺う。

- (1) 漁港の本来の機能について
- (2) 漁港に関係者以外の立ち入りを禁止している区域があるが、その箇所に立ち上がった場合の糸魚川市としての対応について
- (3) 漁港で働いている方々と釣り人とのトラブルを回避するための方策について

### 市長答弁

- (1) 漁業の拠点として岸壁や防波堤、船揚場などが整備され、漁獲物の陸揚げや漁船の安全な停泊の機能を有している。
- (2) 地元漁業協同組合や警察と連携し、区域外への退出を呼び掛けている。
- (3) 立入禁止看板や侵入防止柵の増設など、規制の強化を検討していく。

## 問 糸魚川市の特産物（品）のブランド化の促進について

### 質問

糸魚川市の特産物(品)を、県内外に広めている現況について伺う。

- (1) 糸魚川市が誇る特産物(品)の認知の広がりについて
- (2) これまでの経緯を踏まえて、更に特産物(品)を県内外に広めていく方策について
- (3) 特産物(品)の輸送に、北陸新幹線を利用することについて

### 市長答弁

- (1) (2) 産学連携による海洋高校の特産品や越の丸ナスなどのブランド品の県外への販路拡大に努めている。
- (3) 速達性が高い反面、輸送費が高額となることから、費用対効果の検証が必要と考えている。

### その他の質問項目

- 中山間地域及び周辺部における高齢者への交通網の改善・整備について
- 児童生徒の新型コロナウイルスワクチン接種について

保坂 悟  
議員



## 問 人が集まる地域活性化策について

### 質問

北海道北見市の高校生がスターバックスコーヒーの誘致運動を起こし出店を実現している。10月8日のキャリアフェスティバルいといがわ2021で中学生から市議会に要望を頂いた。中高生からも支持される取組になると思う。そこで、糸魚川市独自のアプローチを行い、新規観光スポットを作る思いで景観に特化したスターバックスコーヒーの誘致について、取り組むことを提案するが、検討する考えはあるか。

### 市長答弁

市の計画はないが、民間でそのような動きがあれば、支援していく。

## 問 生活支援と地域支援について

### 質問

- (1) 高齢者の生活支援について
  - ①自動車運転免許証返納後の生活に沿ったアドバイスを行っているか。
  - ②能生・青海地域からの糸魚川総合病院直通バスを検討しているか。
- (2) 大雪対策について
  - ①私道除雪について手引書の作成を検討しているか。
  - ②緊急時の雪の置き場についてルール作りを検討しているか。
- (3) 株式会社能生町観光物産センター等の第三セクターや権現荘、スキー場等の指定管理施設の目的について、再検討を行う考えはあるか。

### 市長答弁

- (1) ①申請時に話を伺いながらアドバイスをしている。  
②地域や利用者の意見を聴き、利便性向上と効率化を公共交通網全体の視点から検討している。
- (2) ①小型除雪機貸与事業において私道除雪ができるように、要綱を定めている。  
②道路の幅取り除雪の際に排雪を行うなど、雪置き場の確保に努めている。
- (3) 行政改革の取組の中で、目的や在り方を検討していきたいと考えている。

### その他の質問項目

- 子どもたちの環境整備について
- 子どものためのまちづくりについて（自然体験編）
- 子どものためのまちづくりについて（遊び場編）



**加藤康太郎**  
議員



**問 脱炭素に向けた地方自治体（ゼロカーボンシティ）としての取組について**

**質問**

- 令和3年6月に国・地方脱炭素実現会議が公表した「国と地方の協働・共創による2050年脱炭素社会実現に向けたロードマップ」(脱炭素で、かつ持続可能で強靱な活力ある地域社会を実現する行程)では、2025年までに政策を総動員し、地域の脱炭素化を積極的に支援するとしている。また、100か所の「脱炭素先行地域」を創出し、再生可能エネルギー導入など様々な重点対策を進めていくことが示され、直ちにできることは直ちに実践していくとともに、地球温暖化対策計画、長期戦略や成長戦略実行計画、地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画等、そのほか法制度などの各種施策に反映しつつ、国・自治体・地域企業等が一丸となって速やかに実践に移すこととしている。脱炭素に向けた地方自治体としての取組状況を伺う。
- ゼロカーボンシティ実現に向けた、地域の気候変動基盤整備事業等の国からの積極的な支援を得るためには、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明することが必須であると考え。市の見解を伺う。
- 令和3年10月22日、地球温暖化対策推進法に基づく政府の総合計画である「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、2030年度において、温室効果ガスを26%削減から46%削減(2013年度比)することを表明した。国の新たな温室効果ガス削減目標に倣い、「糸魚川市地球温暖化対策実行計画」(区域施策編)及び「第3次糸魚川市地球温暖化対策実行計画」(事務事業編)の見直しが必要であると考え。今後の対応を伺う。

**市長答弁**

- 脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入促進を行うとともに、地球温暖化対策の取組について、広く企業や市民に啓発をしている。
- 実質ゼロの表明に向け、検討していく。
- 国の新たな方針に合わせ、地球温暖化対策実行計画の見直しを進めていく。

**その他の質問項目**

- 森林環境税及び森林環境譲与税の取組状況について
- 森林経営管理制度及び糸魚川市森林整備計画における森林行政の取組について



**渡辺 栄一**  
議員



**問 当市におけるコンプライアンス意識（広報いといがわ・おしらせばんからも読み取る。）及び危機管理体制について**

**質問**

- 当市の広報いといがわ・おしらせばんNo.397(9月25日号)の9ページに、善意をありがたいの項目欄があり、共同であるとはいえ、官製談合事件に関わった企業名が掲載されており、「地域の安全を守るを通じた魅力ある地元づくり」のために、金546,000円とある。当該企業は、令和3年5月20日から同年11月19日までの6か月間の指名停止処分中であつたと解しているが、この件に関して伺う。
- 当該企業の指名停止期間は、いつからいつまでなのか。
  - おしらせばんの担当係はどこの所属で、どのようなプロセスを経るのか。
  - 掲載内容のチェックは、誰が行っているのか。
  - 最終的に誰が承認して、印刷事業者に発注するのか。
  - 指名停止期間中であるならば、市民の皆様には誤解を与えてしまうおそれがあるのではないのか。
  - なぜ、このように掲載される事態となつたのか、政治的な意図があるのか。

**市長答弁**

- 本年5月20日から11月19日までの6か月間である。
- おしらせばんの担当係は総務課広報情報係であり、各課から掲載依頼があつたものを総務課で編集し、発行している。
- (4) 掲載依頼のあつた担当課と総務課で確認し、総務部長の決裁を経て、印刷業者へ発注している。
- (6) 防犯事業等に活用するために寄附を頂き、他の寄附と同様に掲載したものであり、政治的な意図は一切ない。

**問 糸魚川市内における地区名と住所について**

**質問**

現在、当市における地区名が必ずしも住所の大字名と一致しておらず、分かりにくい所が散見している。なぜ、地区によって分かりにくい場所が発生し、放置された状態のままとなっているのか。

**市長答弁**

大字は長い歴史の中で決められたものであり、一つの地区において複数の大字が入り組んで存在していることは承知している。

**その他の質問項目**

- 当市における空き家実態等（廃校含む。）について



田原 実  
議員



## 問 10年後の医師半減と地域医療崩壊への対応について

### 質問

- (1) 市内医療機関の医師数と今後の状況について、具体的には、市内開業医の高齢化が以前より心配されていたが、10年後、15年後にはどのような状況となるか、どう分析し対応しようとしているか伺う。
- (2) 基幹病院である糸魚川総合病院の医師の確保についても、高齢化、働き方改革による富山大学への医師の戻りと診療科の縮小、それによる研修医の減少など、ダブル、トリプルで医師が不足していくと予想されるが、10年後、15年後にはどのような状況となるか、どう分析し対応しようとしているか伺う。
- (3) 医師のみならず、患者でもある市民も高齢化することで通院がますます困難となる。市内医療機関はもちろん、現在も上越市や富山県に通院し治療を受ける市民が安心できる体制づくりをどのように進めるか、現状と課題について、また市は、どう分析し対応しようとしているか伺う。

### 市長答弁

- (1) 現在23人の開業医がいるが、高齢化などにより将来的には現在よりも減少すると想定しており、新たに開業する医師には、引き続き支援していく。
- (2) 糸魚川総合病院の診療機能を維持できるよう、病院と連携して大学への医師派遣要望を継続していく。
- (3) 交通ネットワークの維持や医師の確保が困難になることが懸念されることから、地域医療体制の確保に取り組んでいく。

## 問 10年後の、にぎわいがあり、住み続けられるまちの実現、公民連携による「にぎわいの拠点・子育て支援センター複合施設」の計画について

### 質問

今、市内各地でヒアリングをしている「にぎわいの拠点・子育て支援センター」の計画には被災者・近隣住民を取り巻く問題の解決を行政課題としているか、被災者・近隣住民の思いはないがしろにされていないか伺う。

### 市長答弁

子育て世代や地域住民のほか、様々な団体の皆さんと意見交換し、多くのご意見を頂いている。そのうえで施設構成や規模、施設運営における民間事業者の参入の可能性も含めて検討し、本年度策定している基本計画に反映させていく。

### その他の質問項目

○NHK「プラタモリ」から私たちが学んだものは何か。

近藤 新二  
議員



## 問 公園の整備について

### 質問

2019年に作成された「糸魚川市公共施設等総合管理指針」個別計画の公園においては、整備に関する基本的な考え方として、「公園施設の機能保全に支障となる劣化や損傷を未然に防止するため、公園施設の日常的な維持保全（清掃・保守・修繕など）に加え、日常点検、定期点検結果の活用や、定期的な健全度調査を行うとともに、施設ごとに必要となる計画的な補修、更新を行う。また、劣化や損傷、異常、故障が確認され、求められる機能が確保できないと判断された時点で、撤去・更新を検討し、対応する。」と示されている。市が管理する公園について伺う。

- (1) 遊具やベンチ等の安全点検について
- (2) 樹木等のせん定や伐採について
- (3) 草刈りの実施時期と回数について
- (4) みなと公園と夕日ヶ丘公園の管理状況について

### 市長答弁

- (1) 年1回の法定点検を実施して事故等の未然防止に努めている。
- (2) (3) 事業者や地区に委託し、公園ごとの実情に合わせ年数回、実施している。
- (4) 両公園とも姫川港の臨港地区に県が整備した公園であり、日常的な維持管理業務は市が受託している。

## 問 通学路の安全確保について

### 質問

- (1) 側溝にバリケードや蓋がない通学路について伺う。
- (2) 電信柱の配電盤に頭部を衝突しそうな通学路について伺う。

### 市長答弁

- (1) (2) 学校が防犯パトロール員等からの協力を得て、危険箇所の把握に努めている。  
今年度は、9月に道路管理者及び警察と合同点検を実施し、77か所の危険箇所について情報共有を図るとともに、優先順位を付けて対策を行い、安全確保に努めている。

### その他の質問項目

- こころの病気について
- 除雪について



**伊藤 麗**  
議員



**問 市内の中学3年生が糸魚川市に望むことについて**

**質問**

10月8日に市民総合体育館にて行われたキャリアフェスティバルいといがわ2021に議会もブースを出展し、参加議員の一人として私も参加した。その際、議会のブースに訪れてくれた市内の中学3年生の皆さんに「みんなが糸魚川市に望むこと」として、要望を付箋に書いてもらう取組をした。その時に、頂いた意見の中から、以下伺う。

- (1) スターバックスコーヒーやマクドナルドなどのファーストフードチェーン店などを市営で行う考えがあるか伺う。
- (2) デパート誘致や若い人にもお年寄りにも優しい複合施設をつくる計画や考えがあるか伺う。
- (3) 図書館と家以外の勉強できるスペースがあるかどうかと、現状の利用状況について伺う。
- (4) 情報機器の活用により、ノートに板書を写すことに時間を割くよりも、理解に重きを置いた授業に転換していく意向や可能性があるか伺う。

**市長答弁**

- (1) (2) 市の計画はないが、民間でそのような動きがあれば、支援していく。
- (3) 児童館、公民館、キターレ、ジオパルなどで学習している様子が見られる。
- (4) 子どもが主体的・対話的で深い学びをする授業の実現に向けて、情報機器を活用している。

**問 糸魚川市における指定管理者制度について**

**質問**

- (1) 市内の指定管理者の業務評価について伺う。
- (2) 指定管理料の決定方法について伺う。
- (3) 指定管理者制度を利用した施設の運用に関して、市民の意見を存分に反映させる仕組み作りが必要だと考えるが、現状の取組について伺う。

**市長答弁**

- (1) 施設の適正管理、利用者サービスの向上、収支状況などにより、評価を行っている。
- (2) 一般的には、過去の収支状況を基に双方で協議の上決定している。
- (3) 指定管理者が利用者アンケートなどにより意見を聴き、適正な管理運営とサービスの向上に努めている。

**その他の質問項目**

○子育て支援について

**新保 峰孝**  
議員



**問 入札制度と談合問題について**

**質問**

- (1) 第三者委員会（糸魚川市官製談合再発防止対策検討委員会）への新たな提出資料における1市2町合併後の平均落札率を見ると、入札制度により落札率に差があるように思えるが、入札制度と落札率の関係をどのように捉えているか。
- (2) 談合が地域の建設業に与える影響をどのように考えているか。競争力の低下につながるのではないか。
- (3) 今回の官製談合を教訓に入札制度をどのように改善したいと考えているか。県内20市の入札制度資料では、上越市や妙高市は、最低制限価格の設定を新潟県や中央公共工事契約制度運用連絡協議会の制度によるものではなく独自の設定としている。また、入札監視委員会等の第三者機関で入札のチェックを行っている。官製談合事件で市職員が逮捕、有罪とされた糸魚川市は、上越市や妙高市以上の改善が求められているのではないか。
- (4) 米田市長の政治的責任の取り方は不十分と考える。今回の談合事件をきっかけにした調査により、これまで糸魚川市に数十億円の損失を与えたことが推察されるが、市長は、談合問題の政治的責任をどのように考えているか。

**市長答弁**

- (1) 最低制限価格の設定など、制度によっては落札率に影響を与えるものもあると考えている。
- (2) 競争力などの低下につながるものと考えている。
- (3) 現在、官製談合再発防止対策委員会において、審議しており、入札監視委員会の設置など、再発防止に向け、入札制度の改善を図っていく。
- (4) 今回の官製談合事件を大変重く受け止めており、管理監督責任として減給をしたものである。引き続き、今後の市政運営において、市民の信頼回復に努めていく。

**その他の質問項目**

- 新潟県地域医療構想について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 高齢者福祉の充実と特別養護老人ホームの増設について





利根川 正  
議員



## 問 豪雪災害の対策について

### 質問

糸魚川市では、今年1月から5月まで雪による人的被害、建物被害、農林業被害が多く発生しており、豪雪は自然災害と捉え、まず人命を最優先することが求められる。

- (1) 糸魚川市の今年度12月からの豪雪対策を伺う。
- (2) 11月9日東日本高速道路株式会社新潟支社と国土交通省北陸地方整備局は、大雪による立ち往生が予想される場合、2日前までに日時と区間を定めて周知する「計画的インターチェンジ閉鎖」を実施することとし、高速道と国道を同時に止めることを含め「ちゅうちょなく実施する」と発表した。除雪態勢も強化し、人員をこれまでの最大330人から500人に増やし、状況把握のためのカメラを昨年度より約100台増設するとのことであり、人命を最優先にした対策をとることである。

糸魚川市では、高速道、国道を止められては市民生活も止まることが予想されるが、どう対応するのか伺う。

- (3) 柏崎市では、自力での除雪が困難な世帯に対して、地域内で助け合って除雪作業をした場合に補助金を交付している。また、上越市では、30m以上の車道除雪を町内会や自主防災組織などが行った場合に報奨金を支払う制度がある。糸魚川市では、除雪支援事業制度の考えはあるか伺う。
- (4) 豪雪時の除雪に関する市民の問合せ、苦情、要請が建設課などの現場対応する部署に集中するため、その対応に追われ、除雪作業に当たる県や委託業者等との連絡に支障を来すことがあった。緊急時に全職員が庁舎に集合するのではなく、職員が地域に残り情報収集伝達や区長との連携などを行うことで、建設課への応援体制が作れないか伺う。

### 市長答弁

- (1) 異常降雪時における優先路線を設定し、集中的に除雪を行うことで、重要路線の交通確保ができる除雪体制とした。
- (2) 備蓄食料や、暖房の確保など、冬期の備えについて出前講座などで周知啓発を行っている。また、道路や交通の状況などの適時適切な情報発信に努めていく。
- (3) 当市では、小型除雪機貸与や屋根雪除雪の助成制度などがあるが、他市における制度も研究していく。
- (4) 対策本部を設置する中で、最善の配置を行っている。

### その他の質問項目

○公共施設の現状と課題について

田中 立一  
議員



## 問 健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託の入札について

### 質問

健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託の入札について、2019年の市民厚生常任委員会決算審査で、1者だけ最低制限価格に限りなく近い1万円差の落札は、「不自然である」と問題視されたことを今年の6月定例会で取り上げた。その中で、決算審査において当時の藤田副市長は「近い金額の案件はよくあること。他の設計業者との金額の差はそれぞれの設計業者との力量の差」と、そして6月定例会では「設計業務については工事と違い、ほとんどが人件費。予定価格と最低制限価格の範囲内に入っていれば適正な入札」という内容の答弁をした。それを受け、やはり不自然な過去の入札について調べる必要があるのではないかと述べたが、その後、何らかの調査を行ったか伺う。

また、同じく6月定例会で、建築係の決裁、チェック体制についても尋ねたが、その後の見直しについての考えを伺う。

### 市長答弁

入札の結果については再確認しているが、調査については特には行ってない。また、チェック体制については、設計担当者以外の別の建築士が行っている。

## 問 ヤングケアラーについて

### 質問

大きな社会問題となっている「ヤングケアラー」であるが、国及び県において、今年、初めて実態調査を行い、公表した。新潟県では「世話をしている家族がいる」と回答した中学生が6.8%など、県内でも家族の世話を担う子どもが一定数いることが明らかになった。

糸魚川市でも県と連携するなどして、18歳未満の子どもの「ヤングケアラー」についての実態調査による内容の把握と分析を行うとともに、必要な体制を整えていく必要があるのではないか。

市では市内の「ヤングケアラー」の状況をどのように把握し、対応しているか。中高校生の数と近年の推移、また今後の支援について考えを伺う。

### 教育長答弁

保護者や家族の世話をすることで児童に何らかの影響が出ている家庭については、これまででも対応している。まだ法律上の明確な定義はないが、県の実態調査なども踏まえ、引き続き適切に対応していく。

### その他の質問項目

- 「グリーンスローモビリティ」の導入について
- 農業生産者の所得確保について



**横山 人美**  
議員



**問 糸魚川市における犯罪被害者支援について**

**質問**

現在、糸魚川市には、犯罪のない安全・安心なまちづくり条例や糸魚川市暴力団排除条例など、市民が安心して暮らせるまちづくりのための防犯に特化した条例はあるが、実際に犯罪の被害に遭った方や遺族、家族（以下、犯罪被害者）への支援に特化した施策や条例がない。

本年4月に、新潟県は「新潟県犯罪被害者等支援条例」を施行し、独自の支援事業を始め、犯罪被害者らに見舞金を支給する市町村に対して、県が一部を補助するほか、社会全体で被害者を支える意識をつくるため、フォーラムや巡回パネル展などの啓発事業に取り組み、犯罪被害者支援を警察や県のみならず、関係機関や住民を含む地域全体で支えていくという方向性を示している。

これらの動きを踏まえ、以下のことについて伺う。

- (1) 糸魚川市における犯罪被害者からの相談窓口並びに相談実績について伺う。
- (2) 犯罪被害者は、犯罪による直接的な被害だけでなく、二次的被害にも苦しんでいる現実がある。そのような被害に対して、糸魚川市が現時点で支援できる方法として、どのようなものがあるか。
- (3) 新潟県内の市町村にも、犯罪被害者支援に特化した条例制定に向けた動きがある。糸魚川市でも、11月末に市役所市民ホールにて、犯罪被害者等を考える新潟県縦断パネル展があったが、今後、糸魚川市独自の更に一歩進んだ理解や、支援の拡充をしていく考えはあるか。
- (4) ある日突然、犯罪等の被害に遭い、その日を境に平穏だった生活が一変してしまう犯罪被害者は、誰にでも起こり得ることだと考える。明日に希望と夢を持ち、安心して元気に暮らせるまちづくりを掲げる市長の下で、犯罪被害者条例が制定されることを願うが、考えはいかがか。

**市長答弁**

- (1) 相談窓口は環境生活課で、令和2年度に1件の相談を受けている。
- (2) 相談を受けて庁内連携の下で必要な支援を行っている。
- (3) これまで同様、犯罪被害者に対しても適切な支援を行うとともに、広報等を通じて市民理解に努めていく。
- (4) 条例制定に向けて、検討していく。

**その他の質問項目**

○糸魚川市各種検定受験料補助事業について

**田原 洋子**  
議員



**問 結婚支援について**

**質問**

- (1) 糸魚川市縁結びコーディネーターは、何人いるか。
- (2) 縁結びコーディネート事業、ハッピー出会い創出事業、結婚相談所入会支援制度で、婚姻報告は何組あるか。
- (3) ハートマッチにいがた上越サポートセンターの開設は月に2回だが、開設日を増やすように新潟県に掛け合っているか。
- (4) 上越市、妙高市と広域連携を取っているか。
- (5) ふるさとリバイバル25事業、つながる若者応援事業で、婚姻の事例はあるか。
- (6) 安定した雇用と賃金を上げる施策はあるか。
- (7) 結婚しても働き続けられる職場環境整備のため、企業へ働きかけはしているか。
- (8) 結婚意向の高い20代、30代に対し、結婚、出産を含めたライフプランを考える機会はあるか。

**市長答弁**

- (1) 現在、男性3人、女性3人の計6人となっている。
- (2) 平成19年度から令和2年度の実績として、縁結びコーディネート事業が29組、結婚相談所入会支援制度が1組である。
- (3) 上越市での開設が減っていることから当市での開設ができるよう働きかけており、令和元年度と2年度で年1回ずつ実施している。
- (4) 連携していない。
- (5) 把握していない。
- (6) 資格取得や雇用増加への助成を行っているほか、新規設備投資や労働生産性向上の取組を支援している。
- (7) ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発している。
- (8) 出合いやつながりのきっかけづくりから、将来的な結婚に結びつくよう、セミナーの開催を継続して取り組んでいく。

**問 不妊治療について**

**質問**

- (1) 糸魚川市の不妊治療の助成は、年間どのくらいあるか。
- (2) 糸魚川市のホームページに、不妊治療の分かりやすい説明がないのはなぜか。

**教育長答弁**

- (1) 令和2年度の助成件数は26件で、約187万円となっている。
- (2) 不妊治療は専門性が高いことから、市の助成制度を主に掲載し、県不妊専門相談センターへのリンクを張っている。



## 阿部 裕和 議員



### 問 高齢者の健康維持とフレイル予防について

#### 質問

高齢化が進み、糸魚川市では現在9,200人ほどの後期高齢者の方が暮らしている。高齢者のフレイル（虚弱状態）は、生活の質を落とすだけでなく、様々な合併症を引き起こす危険性もある。

また、昨今の感染症拡大防止のため各種行事の中止を受け、外出を控える方が多く、閉じこもりがちになっている高齢者も増えている。人と会う機会、集まる機会が減り、楽しみがなくなったと精神的にも辛く不安な毎日を過ごしている方もいると聞いている。

- (1) 令和2年度から新たに75歳以上の後期高齢者を対象とした、フレイルの予防・重症化予防に着目した健診、いわゆるフレイル健診が始まったが、受診率ほどの程度か。
- (2) プレフレイル、フレイル状態の高齢者の把握はできているか。
- (3) 独居高齢者、高齢者みでの世帯の把握はしているか。
- (4) 閉じこもり高齢者の把握はできているか。
- (5) フレイル予防は運動、栄養、社会参加、そして口腔ケアが柱だが、これらのフレイル対策を意識した事業と、その実施状況について伺う。

#### 市長答弁

- (1) 後期高齢者健診の受診率は、令和2年度で15.0%である。
- (2) 令和2年度から新たに「後期高齢者の質問票」により、フレイルリスクのある方を把握している。
- (3) (4) 高齢者のみ世帯は年々増えており、また、コロナ禍において、閉じこもりがちの高齢者も増えているものと思われ、民生委員などによる高齢者の見守り活動を通して状況把握をしている。
- (5) 今年度、フレイルリスクのある方の家庭訪問を51件行うとともに、運動・栄養・口腔など、総合的なフレイル予防教室を10回開催し、参加者は140人である。



## 東野 恭行 議員



### 問 駅北復興まちづくりにおける「子育て支援施設」の設置について

#### 質問

- (1) 子育て支援施設建設は、第3次糸魚川市総合計画（案）の2つの重点課題「人口減少対策」「住み続けたいまちづくり」に寄与するものと考えているか。
- (2) 駅北地域における子育て支援施設の建設は、今まで回を重ねてきた懇談会の意見や課題を十分に加味し、クリアできるものと考えているか。
- (3) 令和2年7月29日に行われた駅北まちづくり実践会議において、当時、にぎわいの拠点施設の方向性を「子育て支援+α（プラスアルファ）」と示されたが、その後、現在までに、「+α」の要素について、協議された内容を伺う。
- (4) 建設予定の子育て支援施設は、他市・他県から人を呼び込める「魅力ある施設」が好ましいと考えるが、考えを伺う。
- (5) 子育て支援施設の設置により、子育て分野の行政課題解決に近づくとは思いますが、駅北地区が市民（大家族）にとって居心地のよい特別な場所とするには、近隣住民の皆様の関わり方や、どんな協力が必要と考えているか。
- (6) 複数分散型拠点施設の整備により、整備された雁木や遊歩道において「まち歩き」をどんな人に楽しんでもらうイメージを持っているか。
- (7) 施設設置に当たり、行政課題の対応や地域住民の皆様の要望にお応えするには、子育て支援の機能とほかにどのような機能を考えているか。

#### 市長答弁

- (1) 子育て環境の満足度向上につながり、2つの重点課題に寄与するものと考えている。
- (2) 子育て世代や地域住民のほか様々な団体の皆さんと意見交換し、多くの意見を頂いており、今後、検討していく。
- (3) (7) 当時の会議の場で、参加者から様々な意見やアイデアがあった。現在行っている懇談での意見と併せ、今後、民間事業者の参入の可能性を探りながら検討を進めていく。
- (4) まずは親子、祖父母も含めた、市内の子育てで家族に楽しんでもらうことを基本として、広く利用してもらえる施設を整備したいと考えている。
- (5) 住民や地域の皆様には利用者との交流や施設事業等との連携など、商店をしている方からは、子育て世代に向けた物品販売やサービスの提供などを期待している。
- (6) キターレや子育て支援施設を活用しながら、子育て世代を始め、まちを訪れる多くの方々から、まちなかを楽しんでもらうことをイメージしている。

## 議案の審議結果 第5回定例会（11月29日～12月16日）

番号等	件名	結果
86	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第6号）	可決
87	糸魚川市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決
88	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決
89	契約の締結について（青海中学校体育館大規模改修（建築）工事）	可決
90	糸魚川市水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決
91	指定管理者の指定について（駅北広場）	可決
92	訴えの提起について	可決
93	糸魚川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
94	糸魚川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
95	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第8号）（計数整理により第7号から第8号へ変更）	可決
96	令和3年度糸魚川市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
97	令和3年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
98	令和3年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	可決
99	令和3年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
100	第3次糸魚川市総合計画基本構想の策定について	可決
101	教育長の任命について	同意
102	糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
103	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第7号）（計数整理により第8号から第7号へ変更）	可決
104	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第9号）	可決
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め答申
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め答申
諮問4	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め答申
陳情5	コロナ禍での米価下落対策と生活困窮者への食料支援策を講じ、食料自給率の向上を求める意見書の提出について	不採択

### 人事案件

#### 教育長の任命

現教育長の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

つるもと しゅういち  
**轟本 修一さん（再任・田海）**  
 任期 令和4年1月1日から3年間

#### 人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されたので、適任と認め、答申しました。

おんだ まさみ  
**恩田 正身さん（再任・能生）**  
 たむら  
**田村ゆかりさん（新任・平牛）**  
 たなか しょうこ  
**田中 唱子さん（再任・藤後）**  
 任期 令和4年4月1日から3年間

## 糸魚川市議会議員アンケート集計結果（コンプライアンス調査推進特別委員会）

糸魚川市官製談合再発防止対策検討委員会が事業者に対し行った「入札・契約制度に関するアンケート」の自由記載欄に、「予定価格の漏れは、市職員のみならず、市議からもあるのではないか。信用できない。」という意見がありました。市議会議員に対して疑念が持たれていることを重く受け止め、糸魚川市議会議員を対象に入札に関するアンケートを行いました。

対象者 18人 回答率 94.4% (18人中17人が回答)

① あなたは当市の職員から入札情報を聞き出したことがありますか。

はい	いいえ
0	17

② あなたは当市の議員から入札情報を聞いたことがありますか。

はい	いいえ
0	17

③ あなたは業者間談合に関わったことがありますか。

はい	いいえ
0	17

④ あなたは業者間談合に当市の議員が関わっていることを聞いたことがありますか。

はい	いいえ
1	16

⑤ あなたは官製談合や業者間談合について関わっていないが、噂を聞いたことはありますか。

はい	いいえ
5	12

⑥ 入札情報の漏れについて議員が疑われていますが、どのようなことが必要だと思えますか。(自由回答)

主な回答

- ・議員自身が常日頃から疑われることがないように言動等を心掛けるべきである。
- ・一議員としてより高い倫理観を持つこと。
- ・公務員としての守秘義務を厳守すること。
- ・現職である以上、糸魚川市の入札に関わる企業や団体から距離を置くこと。

⑦ 入札の不正をなくすためには、どのようなことが必要だと思えますか。(自由回答)

主な回答

- ・優越的地位の濫用が起ころぬよう事前公表にして、業者間による「コンプライアンス宣言」を行ってもらう。
- ・入札を監視する第三者機関を設置し、定期的にチェックすること。
- ・不正があった場合の事業者に対するペナルティーをより重たいものにする。  
(1年以上又は期限を設けずに入札に参加させない等。)
- ・業者関係者の教育

## 上越三市議会議員合同研修会

11月8日にえちごトキめき鉄道株式会社の鳥塚亮代表取締役社長を講師にお招きし、「えちごトキめき鉄道のコロナ禍における現状とその後の戦略について」をテーマに研修会を行いました。

当日は、新型コロナウイルス感染予防のため、三市議会がそれぞれの会場に集合し、オンライン会議で行いました。



## 行政視察受入状況

糸魚川市議会では、行政視察の受入を行っています。

### 令和3年中の視察受入団体名

(合計：4団体41人) ※都道府県番号順

#### 議会名

新潟県／加茂市議会

新潟県／加茂市・田上町消防衛生保育組合議会

石川県／加賀市議会

長野県／飯田市議会



## 議会を傍聴 しませんか

## 3月 市議会定例会の会期及び日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21 本会議 初日	22	23	24	25 議会運営委員会	26
27	28 本会議	3/1 一般質問	2	3 本会議	4 一般質問	5
6	7	8 総務文教 常任委員会	9 建設産業 常任委員会	10 市民厚生 常任委員会	11 予算審査 特別委員会	12
13	14	15 予算審査特別委員会		17	18 議会運営 委員会	19
20	21	22 本会議 最終日	23	24	25	26

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議（議場）の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。

※3月定例会で議題とする請願・陳情は、2月10日（木）までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

## 市議会をホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像及び予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。

市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、右の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。



【二次元バーコード】